地域とともに育つ コミュニティ・スクール

学びの輪、地域の和、未来へ繋ぐ
Community School

令和8年10月13日
成田市教育委員会
生涯学習課　No.4

本市では、令和 5 年度から市立の全小中義務教育学校 29 校がコミュニティ・スクールとなりました。それぞれの学校の学校運営協議会では、学校の運営とそのために必要な支援について協議し、学校運営に参画しています。地域と学校が一体となって、未来の創り手となる子どもたちを育てていく体制が整えられています。

学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような取り組みされているのか、紹介いたします

成田小学校

運営委員による授業参観、教職員の業務量管理、校舎の改築に伴う課題等様々なことについての話し合いが行われました。

教職員の働き方改革と健康確保について

教職員の業務量管理および健康確保措置について説明が行われ、承認されました。勤務時間の客観的把握や定時退勤日の導入、生成 AI や ICT を活用した教材作成の効率化などの負担軽減策が報告されました。教職員が笑顔で子どもたちに向き合える環境づくりに向け、委員からも理解と温かい意見が寄せられました。

校舎改築に伴う児童の運動環境と避難所機能の整備に向けて

工事計画に伴う今後のグラウンド利用や、児童の思い出となる運動会・マラソン大会等の行事に関する話し合いが行われました。また、アリーナ（体育館）の熱中症対策や、豪雨時における避難所としての環境整備について、教育的観点と地域防災の両面から活発な「熟議」が交わされました。

学校が抱える課題を地域全体で共有し、子どもたちの健やかな成長のために「一緒になって（Let's）」解決を目指そうとする熱心な姿勢が感じられました。

吾妻中学校

合唱コンクール中間発表会の参観、50周年に向けた取組、学校行事の予定確認や環境整備等の課題について話し合われました。

合唱コンクール中間発表会

全体的に完成度の高い合唱が披露されている中、日本語の理解が難しい生徒がタブレットを活用する姿が見られました。隣の生徒が自然に通訳のサポートを行う姿が見られ、委員からも感心の声が上がりました。ICT 機器や AI の活用が進む一方で、人の温もりも感じられる心温まる一場面でした。

学校の課題の共有と解決に向けて

運営委員より敷地内の除草などの環境整備や屋外トイレの老朽化、災害への備えについての心配や意見があがりました。学校も同様に課題を感じていました。運営協議会で地域や保護者も協働して学校を支えていきたいという声もあがり、学校の課題を共有し解決に向かおうとする姿が見られました。

校長先生の明るい人柄から、終始和やかな雰囲気で会議が行われました。学校の考えや姿勢が共有され、より良い学校運営に向けての話し合いの場になっていることが感じられました。